

交通ちば



VOL. 411 平成24年8月1日

千葉県交通安全活動推進センター
公益財団法人 千葉県交通安全協会



はっきりと正しい合図で左折



14校の選手が整列して開会式を行う



学科テストに真剣に取り組む

松戸市立小金小学校が9年連続優勝 第49回交通安全子ども自転車千葉県大会

第49回交通安全子ども自転車千葉県大会（県・県警察・県教育委員会・〈公財〉県交通安全協会主催）が7月11日、千葉県稲毛区の県総合スポーツセンター体育館で行われました。大会は、交通規則や道路標識の意味を問う学科テストと、安全で正しい運転技術を見る実技テストで行われ、参加14校のうち松戸市立小金小学校が、大会初の9年連続優勝を果たしました。同小学校は8月1日、東京都江東区有明の東京ビッグサイトで開かれる全国大会に出場します。



ピンを倒さずにジグザグ走行



路上の駐車車両の横を通り抜ける



県警音楽隊の演奏に耳を傾ける



デコボコ道走行



踏切通過時は一時停止



優勝した松戸市立小金小学校の皆さん

成績は次のとおりです。
 ▽優勝 || 松戸市立小金小 ▽準優勝
 || 同八ヶ崎小 ▽3位 || 富里市立
 洗心小 ▽4位 || 野田市立七光台小
 ▽5位 || 同南部小 ▽6位 || 同尾
 崎小 ▽優良校 || 松戸市立中部小、
 同相模台小、同八ヶ崎第二小、同
 根本内小、野田市立中央小、流山
 市立南流山小、佐倉市立間野台小、
 四街道市立みそら小。

交通ルールとマナーをきちんと
 守る心をこどものうちから育て、
 交通事故防止に寄与していこう、
 と始められた大会も49回目になり
 ました。県内各地の予選を勝ち抜
 いた14校70人の選手は、観客席
 の保護者、先生、友達、交通安全
 協会の役員の声援を受け、懸命に
 競技に取り組みました。

7月22日 現在県内の交通事故発生状況

7月22日現在の県内の交通事故発生状況は右の表のとおりで、発生件数、負傷者数は前年同期より減少しているものの、死者数は前年同期比4人増の91人で、全国ワースト4位となっています。

死者ワースト順位 (単位：人)

順位	都道府県	死者数	前年比
1	愛知	119	+ 3
2	埼玉	109	+ 6
3	兵庫	92	- 12
4	北海道	91	+ 16
4	千葉	91	+ 4
4	東京	91	- 26
7	大阪	88	- 32
8	神奈川	82	- 8
9	福岡	81	+ 3
10	静岡	80	- 2

区分	累計	前年比
発生件数	11,958件	- 443件
死亡事故件数	88件	+ 1件
死者数	91人	+ 4人
負傷者数	14,813人	- 440人

*発生件数、負傷者数は概数です。
 *数字は平成24年1月1日からの累計です。

死者91人 全国ワースト4位

死亡事故の特徴

- **高齢者の死者が多い**
 65歳以上の死者が36人と最も多く、歩行中に14人、自転車乗車中に10人が亡くなっています。
- **安全運転義務違反が多い**
 死亡事故の原因となった違反で最も多いのが脇見等の27件、安全不確認15件、運転操作不適当が9件。速度超過が8件、信号無視が6件と、無謀運転も多くなっています。
- **シートベルト着用率が低い**
 シートベルト着用率が低い四輪乗車中の死者26人のうち17人がシートベルト非着用でした。

各地の交通安全活動ニュース

交通安全協会の活動にご協力いただきありがとうございます。会員の皆様の会費は、地元の交通安全協会ボランティア活動に活用されています。



東金 福岡小学校で自転車安全教室を開き啓発する。



行徳 塩浜中学校で傘差し運転体験をし安全な乗り方を学ぶ。



千葉中央 都小学校他4校で自転車教室を開き啓発する。



茂原 長柄小学校で自転車安全教室を開き啓発する。



浦安 舞浜小学校の1年生に横断歩道の渡り方等を指導する。



千葉西 稲毛小学校周辺で通学路の安全利用の実地指導を行う。



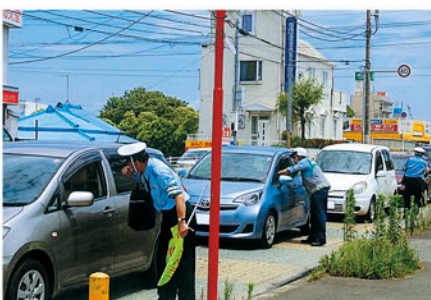
一宮 瑞沢小学校で横断歩道の渡り方などを指導する。



松戸東 高齢者の自転車教室で反射材の取り付けを説明する。



千葉南 土気南中学校で自転車安全利用教室を開き啓発する。



市原 五井の主要交差点でシートベルト着用を呼びかける。



印西 白井市桜台小学校で安全教室を開き啓発する。



千葉北 警察署近くの国道16号で啓発物を配り無事故を訴える。



富津 富津市役所前道路でシートベルト着用を呼びかける。



山武 山武中学校で自転車安全教室を開き啓発する。



鎌ヶ谷 みちる幼稚園で安全教室を開き安全確認等を指導する。

山武交通安全協会



伊藤 丈 会長

伊藤会長の話

「海難除けの不動尊として親しまれている浪切不動院に、役員と交通指導員などおよそ200名が勢揃いして、新しい年の交通安全と管内住民の無事を願う祈願祭から1年の活動が始まります。管轄区域は山武市、横芝光町、芝山町で、交通安全活動は市や町の協力の下、警察署の指導をいただき行っています。みんな力を合わせて一緒にやるのが特徴であり、誇れるところです。」

広大な九十九里浜があり、多数の海水浴場があり、毎年夏は駐車場への誘導や警備に従事しています。警察官と共に海岸を回り、帰路での疲れによる交通事故の防止などを呼びかけています。

夏が終ると秋の祭り、収穫祭、産業祭があります。農業を中心とした歴史ある町なので行事が続きます。地域の催しを円滑に進めるための縁の下の力持ちとして交通指導員が各地域で頑張っています。



篠原佳緒里さん、石渡茂光顧問、平澤敏子事務局長

街頭での広報啓発活動は管内を通る国道126号を中心に通年行っていますし、春の新入学期は幼稚園、小学校での交通安全教室を管内全域で順次開催しています。

組織は会長以下6人の副会長、6人の支部長がいて、各班があり、地元に着した活動を活発に行っています。交通安全意識の高い地元の人達に支えられての活動に感謝しています。」

平澤事務局長の話

「窓口ではいつも親切丁寧を心掛け、笑顔で応対することをモットーにしています。また、高齢者の方の免許更新も多くなり、そうした方にはゆっくり大きな声で話すようにしています。地域の皆さんに交通安全協会の役割を知っていただき、多くの方々のご理解、ご協力をいただけるよう、200名の交通指導員の活動を支え、安全への思いを伝えていきたいと思っています。」

交通指導員 6月の活動状況

6月中の県内各地の交通安全協会の交通指導員と地域交通安全活動推進委員の出動回数と出動人員は次のとおりです。

○ 駐車対策	15回	76人	○ 街頭活動	1926人
○ 安全教室	7回	696人	・ チャイルドシート・シートベルトの着用指導	44回
・ 児童	233回	696人	・ 街頭監視	324回
・ 一般・高齢者	14回	377人	・ 街頭広報	43回
○ 自転車教室	106回	377人	○ 各種イベント	59回
○ 祭礼警戒	74回	208人	○ 会議・研修会等	101回
□ 出動回数総数	101回	982人	□ 出動人員総数	5038人

平成25年使用 交通安全年間スローガン募集

- ◆ 募集部門
 - ★ 一般部門A = 運転者（同乗者を含む）に対するもの
 - ★ 一般部門B = 歩行者・自転車利用者に対するもの
 - ★ こども部門
- ◆ 応募要領
 - 募集期間 平成24年7月初旬から9月30日まで（必着）
 - 応募資格 一般部門A、B：一般および学生（小・中学生も応募可）
こども部門：小・中学生に限る
 - 応募内容
 - 一般部門A：①運転マナーの向上 ②飲酒運転の根絶 ③全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用 ④夕暮れ時の早めの点灯の促進
 - 一般部門B：①高齢者の交通安全（正しい横断など） ②自転車の安全利用の促進（自転車安全利用五則の徹底など） ③夕暮れ時、夜間の交通事故防止
 - こども部門：小・中学生自身に交通安全を呼びかけるもの
 - 応募方法 はがき1枚ごとに①応募部門②スローガン1点③住所④氏名⑤生年月日⑥職業（学校名・学年）⑦電話番号を明記。小・中学生は、学校所在地と電話番号併記。学校・企業・団体単位で一括送付可
- ◆ 送り先 〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
毎日新聞社事業本部「交通安全年間スローガン」係
TEL 03-3212-0190
- ◆ 主催 財団法人全日本交通安全協会・毎日新聞社

